

やさしいまち

No. 128  
2023.11.1

# みやしろ議会 **だより**



手話

みんなでアイラブユー

(宮代手話の会)

★P22で特集インタビュー



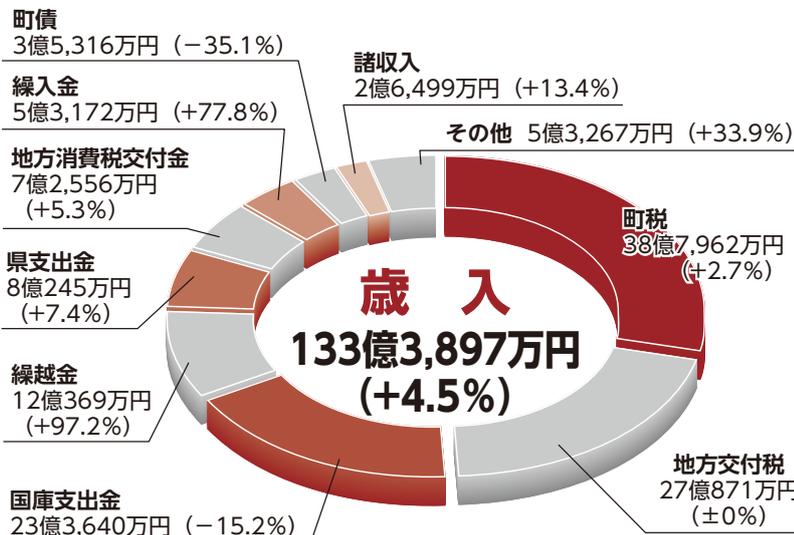
宮代町議会H.P  
QRコード

令和4年度一般会計決算 <b>健康の安全が最優先</b> ……	2
決算特別委員会 <b>各課ごとの質疑応答</b> ……	4
<b>手話を使って安心な暮らしに</b> ……	11
<b>議案に対する各議員の賛否</b> ……	13
<b>町の考えを問う 一般質問に11人が登壇</b> ……	14
<b>町民インタビュー・懇談会のお知らせ</b> ……	22

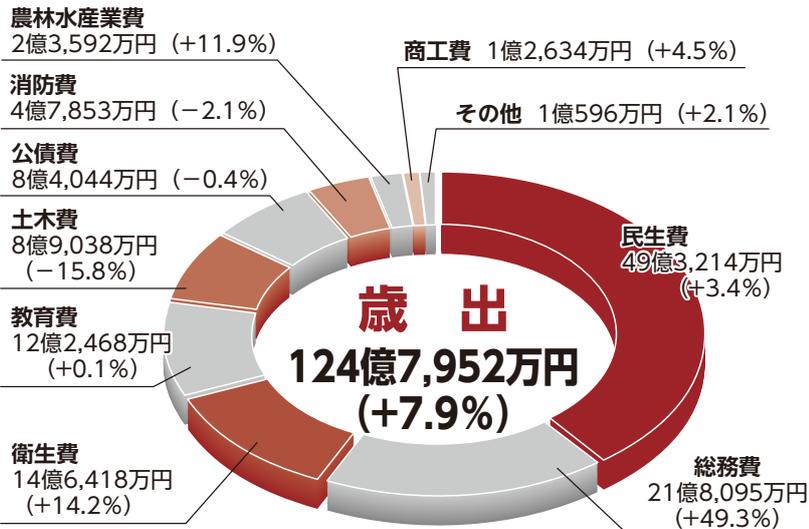
# 健康の安全が 最優先!!

## 税金がどう活かされたか 決算特別委員会で検証

### ●歳入の内訳



### ●歳出の内訳



※数字は万円未満を四捨五入、( ) は前年度比

監査委員(新祖章氏)は審査に付された決算書及び付属書類は正確であることを認めました。また、予算執行についても、適正に執行されているものと認めました。

9月定例議会は、8月31日から10月2日まで33日間をわたって開かれました。町長から令和4年度一般会計歳入歳出決算の認定や条例の制定及び改正など24件が提案され、審議の結果、原案のとおりすべて認定・可決・同意しました。議員提案の「『健康保険証』の廃止撤回を求める意見書」は反対多数で否決されました。町民から提出された「杉戸町・宮代町の合併の是非を問うアンケート」の実施を求める「請願書」は反対多数で不採択となりました。一般質問では、11人の議員が質問に立ちました。

# 事業の成果を

# 子エツク!!



## 新型コロナウイルスワクチン接種事業

3億7,990万円

令和4年4月から年間を通して接種を行いました。



ワクチン接種者

6か月～4歳	44人
5歳～11歳	511人
12歳以上	27,880人

進修館大ホール会場

## 社会福祉事業 (民生委員・児童委員活動補助ほか)

3,200万円

社会福祉協議会などへ補助金を交付しました。



フードライブや一人暮らしの高齢者への訪問活動など、困った時は助け合い

すてっぶ宮代活動チーム交流会



## 母子保健事業 (産後ケア・妊婦健康診査ほか)

2,636万円

新生児の聴覚スクリーニング検査や、パパママ教室、はじめての孫育て教室などを開催。



令和4年度は184人の赤ちゃんが誕生しました

乳幼児健診

### 反対討論

小河原正議員

町の職員管理計画による職員増に対する財政面での説明がない。また、久喜市ごみ問題で町の財政力がどうなるのか説明がない。町は真剣に考えているのか。

### 反対討論

丸藤栄一議員

①町民の所得は少ない中、都市計画税は重い。②ジェンダ―平等が叫ばれる中、役場の女性幹部職員が少ない。③自主的に避難できない避難行動要支援者の支援体制がない。

### 賛成討論

泉伸一郎議員

町税の収納率が高く、徴収への努力がみられる。新型コロナウイルスワクチン接種事業や感染症対策事業、各種支援事業がスムーズに進められたことも評価。

### 賛成討論

丸山妙子議員

監査委員の審査意見通りと考え、評価する。特に教育委員会ではコロナ対応はしっかり行った。いじめ問題の第三者委員会が3つ立ち上がり、しっかりと考えて対応をお願いする。

### 賛成討論

土淵保美議員

町民の安全安心を第一に考えたコロナワクチン接種の運営は近隣市町よりスムーズに行われ、地元商工業者に対する各種事業で消費喚起が出来た事は高評価する。

### 賛成討論

塚村香織議員

悩みを抱える子ども達や保護者に寄り添った各事業、産後ケア事業では今後の拡充も見据えており、心身の健康を第一に考えた取り組みを評価し賛成する。

# 分教場跡地の有効な活用方法を

## 企画財政課

**問** 分教場跡地は30年以上も現状のまま経っている。町民にもっと有効な活用方法があるのではないか。

**答** 代替地でもあり、現時点で難しい。

**問** 財政力指数は、平成30年で0.64、令和4年で0.59と、年々下がっている。根本的な原因と改善策は。

**答** 税収は減っていないが、人口増などにかかる経費が増えている。ふるさと納税、特に企業



分教場跡地は利用しないと もったいない

版について力を入れていく。また、土地利用を推進し、固定資産税の増収を図っていききたい。

**問** 当町の電力の契約先と価格の違いは。

**答** 電力を売買する権利を持っている藤田商店と契約。役場庁舎と出先も含めた12施設で約54万円削減できている。

**問** 循環バスはデマンド交通との関係で、今後どのように改善するのか。

**答** 循環バス、デマンド交通、あるいは組合せなど、町に適した交通システムを検討していく。

決算特別委員会は、町の決算について審査するために設置される特別委員会です。各課の事業に対して質問をしました。

# 決算特別委員会

## 投票率を上げる方法は

## 総務課

**問** 投票率が低いですが、投票率を上げるには。

**答** 20代、30代の若年層の投票率が低い。子どもの頃、親と一緒に投票所に行って、親の投票している姿を見ている子どもの投票率は高い傾向にある。親子で投票に行こうというキャッチフレーズでの啓発。若い世代への情報発信や選挙広報などで広く知らせていく。



政治を良くするには、投票率のアップを

**問** 職員数と会計年度任用職員数は。

**答** 職員は222人、会計

年度任用職員は220人で正規職員と同じ勤務時間で働くフルタイム職員が17人、パートタイムの職員が203人となっている。



住民サービスのかなめです

**問** 当町では自衛官募集のために、若者の個人情報に記載した名簿を自衛隊に提供しているか。

**答** 昨年度は情報提供の依頼はなく、今年度も依頼は来ていない。

**問** パワハラやセクハラの防止策は。

**答** 町民がハラスメントを受けた場合、相談窓口の存在を周知し、広く相談に応じていきたい。

## 町民生活課

**問** 新たな避難所として横町地区の物流施設と協定書を結んだが、どのような内容か。

**答** 大和ハウス工業と協定を結んだ。主に水害時に高所避難、高いところへ逃げるといったことを目的に倉庫を一時避難所として貸してもらえるようになった。



避難所として協定書を結んだ

**問** 日本工業大学は指定避難所になっているのか。

**答** 現在、指定避難所となっていない。情報を共有しながら、必要に応じて適切に

使用できるようにしていきたい。



住民要望の多い、カーブミラー・防犯灯

**問** カーブミラーは前年度が9基あったが、昨年度は3基の設置。防犯灯は前年度が21か所だったのが、昨年度は11か所。少なくなった原因は。

**答** 反射鏡、防犯灯ともに区長からの申請が原則。いづれも交通安全、防犯の協議会専門部会で現地調査、審査、協議して決定している。その結果、反射鏡については3か所になった。防犯灯は昨年度14件の申請で設置が11件。申請件数が減ったのが現状である。

## 環境資源課

**問** 側溝の清掃は、側溝の蓋が厚い、重い、開かないなど、高齢化に伴い側溝清掃は困難である。早いうちに対策を取るべきでは。

**答** 町道についてはまちづくり建設課が管理している。汚泥がたまって定期的な清掃が必要な場所については、実際に困っている方から、直接まちづくり建設課に相談してもらい、必要に応じて現場の確認や対策について検討を行うというような体制になっている。

**問** 予算審議では町オリジナルエコバッグを作成し、主に転入者へ配布することになっていたが。

**答** エコバッグの普及が進んだため、啓発目的のエコバッグ配布は終了することとした。

**問** これまでプラスチックごみは資源物として回収されてきた。今度の新設炉については、可燃ごみに変更された。来年度からどうなるのか。

**答** 来年度については、現状どおりの回収のごみの分別となる。

## 側溝の清掃は、高齢化に伴い困難



最近の側溝は、重く、開かない

## 決算特別委員会

## 町内事業者も子育て支援に協力

### 子育て支援課

**問** 地域子育てサロン業務委託料121万円の詳細は。

**答** カラーセラピーやヨガ、ダンス、ハロウィンイベント、サークル活動など年13回開催した。

**問** 参加者からの要望は。

**答** 保育ボランティアを支援して欲しいという要望が多かった。

**問** 子ども家庭総合支援事業委託料の福祉相談支援システム利用料105万円、改修料66万円の内容は。

**答** 福祉相談システムは、相談や通報を受けた内容を教育委員会や保健センター

と情報共有できる仕組みである。また、改修したことで児童相談所や他自治体と情報を共有できることになった。

**問** 学童保育所運営事業委託料1億5300万円、雇用の充実として指導員の賃金をどのように考えているか。

**答** 指定管理者から賃金のベースアップ分を勘案し年度協定を結んでいる。賃金水準の引き上げは国の補助金を活用していく。近隣自治体と比べても極端に低い訳ではない。

**問** 学童保育の待機児童は。毎年ゼロとなっている。



ドイツパン食べ比べ講座

## 決算特別委員会

### 英語で話す楽しさを学ぶ

### 教育推進課

**問** 英語教育推進事業、英語の魅力をどのように伝えられているのか。

**答** 島村盛助先生を顕彰する英語発表会を開催し、中学2年生が小学6年生に島村先生の功績を伝えている。学んだ英語で小中学生がコミュニケーションをとり伝わる喜びや相手のことを知る楽しさを味わう場になっている。

**問** 令和4年度から各校に配置されたスクールサポートスタッフの状況及び成果は。



オンライン実施（中学生から小学生へ質問）

**答** 各校2名（須賀中、前原中は1人）を配置し主に掃除などの環境整備に従事し、教職員の負担軽減に繋がっている。

**問** 交通安全・防犯対策事業、こども110番の家の学校別状況は。

**答** 須賀小・須賀中地区22軒、笠原小・東小・百間中地区71軒、百間小・前原中地区33軒の計126世帯子ども達が避難して来たときに対応できるか心配という声も寄せられており、現在継続の確認を行っている。

## 商工業事業運営の活性化を

### 産業観光課



宮代町商工会の経営指導員による活動

**問** 商工業振興事業の主な事業内容で補助金1100万円の内訳はどのように活用しているのか。

**答** 商工会への補助金で経営指導員などの活動費や青年部育成費用、記帳機械化システム利用などに補助する。

**問** 事業者物価高騰対策支援金事業補助金の内容は。

**答** 令和3年10月から翌年9月までのうち、任意の連続する2か月間に営業利益が前年同期と比較して5%以上かつ1万円以上減少し

ている事業者に5万円を交付して交付件数は約193件ある。

**問** 店舗、住宅リフォーム事業などの補助金は金額347万円であるが、この詳細内訳は。

**答** 店舗2、併用1、住宅41戸で町内商工業の振興を図るために、店舗の場合は対象経費の10%、(上限20万円) 住宅の場合は対象経費の5%、(上限10万円)を交付した。空き店舗を出店を可能にする工事も対象。補助要件は申請年度内に工事が完了することが条件である。申請年度において他の改修工事に関する補助金を受けていないことなど。



店舗住宅リフォーム事業補助金

## 決算特別委員会

### 姫宮駅西口周辺の活性化につなぐ

### まちづくり建設課

**問** 姫宮駅西口活性化事業における都市計画道路春日部久喜線の北春日部への延伸について、橋の工事と物件補償の状況を伺う。

**答** 橋の工事は春日部市が行う。道路整備については、物件補償の交渉を行っており、来年度から用地買収に入る予定である。



都市計画道路春日部久喜線の橋建設予定

**問** 新橋通り線の整備の進捗について伺う。

**答** 現在、用地買収を進めている。杉戸町側において説明会が行われ、用地測量を実施している。



新橋通り線の杉戸町側への橋建設予定

**問** 一般住宅耐震対策事業の既存建築物耐震診断補助金、耐震改修工事などの補助金及び既存ブロック塀など撤去補助金の交付について、令和4年度はなぜゼロなのか伺う。

**答** 窓口や電話での相談はあったものの申請には至っていない。令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら、地元建築士や工務店と連携協力し、7月、8月、9月に耐震リフォーム相談を行い、防災訓練でも補助制度の周知を図る。

## 産後の子育て世代に寄り添う支援

### 健康介護課



出産から子育てまで総合的に支援  
(保健センター)

**問** 産後ケア事業においてサービスの利用が少なくなっている。どのような周知をされたか。

**答** ホームページのほか、母子健康手帳の交付時に、お知らせを配布して周知を図っている。

**問** 避難行動要支援者への自治会での対応は充分といえるか。

**答** 要支援者の避難活動は町内56か所の自主防災会を中心に対応することになっている。併せて、防災会長あてに個別避難計画の作成を依頼している。

**問** 保健衛生総務事業での保健センター内の改修工事の詳細は。

**答** 自動ドアの修繕と今回、更新の時期となったガス感知器の更新を3か所で行った。

**問** 長寿いきがい支援事業の敬老祝品の贈呈について今後の見直しはあるか。

**答** 節目の年齢を迎える方を祝うもので、本人だけでなく、家族へのお祝いも含まれている。今のところ、見直しについては考えていない。

## 決算特別委員会

### 町や社協へつなぐサポーターの広がり

### 福祉課

**問** 見守りサポーターや団体登録、協力店が増加しているが、今後の取組は。

**答** 多くの方に地域において見守り活動をしてもらえるよう輪を広げていく。社会福祉協議会を中心に団体を組織化し、イベントも開催する。

**問** 民生委員は十分に配置されているか。

**答** 民生委員は55人中、8人不足していたが、今年度に1人増えて、7人になっている。今後も民生委員に

なってもらう方が増えるように努めていく。

**問** 障害者地域生活支援事業の意思疎通支援についての今後の取組は。

**答** 手話通訳者の派遣を行っている。県派遣者とボランティアの通訳により、14件の利用があった。手話言語条例が制定され、今後は、手話通訳者との連携を図り、支援を進めていく。

**問** 社会福祉総務費の不用額が大きくなった理由は。

**答** 給付金の給付対象世帯数が当初の見込より少なかった。特に家計急変世帯の申請が少なかった。



地域福祉の中心となる「すてつ宮代」

# 納税は口座振替から電子納付に変化

## 税務課

**問** 町税収入の令和4年度の状況及び傾向について。

**答** 令和4年度の町税収入は個人町民税は所得割額の伸び、法人町民税は課税標準額の大きな伸びが。軽自動車税は軽四輪乗用の登録台数増が、固定資産税は新築家屋の評価額増、加えてたばこ税は売り渡し本数増のため、町税全体では2.7%、約1億円の増につながっている。

**問** 納税推進事業の内容。  
**答** エルタックスによる



申告はお早めに 確定申告会場

電子納付、口座振替の推奨、コンビニ納付、スマホ決済の利用促進に努めてきた。なお、電子決済は若い人、口座振替は比較的年齢の高い人が利用する傾向にあった。

**問** 不納欠損の詳細を。

**答** 令和4年度は、総件数79件で、うち、財産なし・倒産が50、生活困窮14、所在不明9、死亡6で不納欠損処理を行った。

**問** 差押状況は。

**答** 令和4年度は、総件数40件で、総額は約200万円であった。なお、県からの人的支援はここ数年ない。

# 決算特別委員会

## 議会要望プロジェクトに予算計上

## 議会事務局

**問** 会議録調製事業委託料増の理由及び今後の考えは。

**答** 本事業は、会議録作成、検索システム、録画配信及び議場用映像音響設備機器使用料をシステム安定のため一括して1社と契約している。増の理由は、会議録の会議時間による増、本会議での全ての映像配信を可能にしたことによる増。

**問** 現在、議事録は各20部作成。内訳は原本2、議員配布14、町長その他事務局控えて4。検索システム利用で議員配布を削ることによ



進修館小ホールが職員の手で議場に

り委託料の減は図れる。

**問** 議員活動を十分に保証する場が乏しい。議場をはじめその都度、職員が会場設営に奔走する。最高議決機関に対する処遇の現状は町の恥ではないか。

**答** 事務局としては、どうするかの方角性が示されていない段階では予算要求ができない。

**問** 町長の考えは。

**答** 議員の部屋の必要性について議員自らプロジェクトチームをつくるということであれば予算計上したい。

## 特別会計決算額

### 国民健康保険

歳入 33億4,108万円 歳出 33億3,233万円

### 介護保険

歳入 32億2,271万円 歳出 30億7,701万円

### 後期高齢者医療

歳入 6億 560万円 歳出 5億9,724万円



あなたを守る特定健診

## 国民健康保険

〔賛成8、反対4で可決〕  
2年間据え置きとなっていた税率等の見直しを行いました。また、平成8年度までの赤字解消に向け、今後、税率の見直しを図る予定です。

### 主な質疑

問 歳入、一般会計繰入金のその他繰入金（法定外）3290万円減の理由、及び今後、毎年減少の方向に向かうのか。

答 被保険者数の減少によるところが多いが、他の理由もある。今後も被保険者の後期高齢者移行が毎年続くことから、その他繰入金は被保険者数減により減少するものと思われる。

### 反対討論

丸藤栄一議員

国保加入者は高齢者や低所得者が多く、国保税が高くなるという構造問題がある。相次ぐ物価高騰の中、国保税は払えるように一般会計から繰り入れを増やし、国保税を引き下げざることを求める。

## 介護保険

〔賛成10、反対2で可決〕  
要介護者には適切な介護サービスに必要な保険給付を、要支援者には介護予防・日常生活支援サービスの提供を行ったもの。

### 主な質疑

問 介護認定の審査期間について早く出来ないか。

答 法律は申請後30日以内。現状は、町の調査が平均10日、医師の意見書は平均23日、審査会は毎週1回。医師の意見書のバラツキで4週間要している。

### 反対討論

丸藤栄一議員

令和3年8月から介護入所者で低所得者の食費・居住費が月額2〜7万円の負担増となった。制度改悪は高齢者の生活を2重3重に苦しめている。

### 賛成討論

丸山妙子議員

高齢者のサポート、支援と見守りを目的とした制度の活動を評価し、一層の努力をお願いしたい。

## 後期高齢者医療

〔賛成8、反対4で可決〕  
歳入の主な財源の保険料収入は4628万円で10・8%増。未納被保険者には催告、納付相談で滞納の解消に努めたもの。

### 主な質疑

問 保険料の徴収方法、滞納状況について。

答 特別徴収7割、普通徴収3割。滞納件数は26件。短期保険証発行1人。

問 不納欠損の件数は。

答 件数としては26件で時効6人、生保開始2人の計8人。

問 窓口負担の人数及び割合は。

答 1割負担は3915人で64%、2割負担が1739人で28%、3割負担が461人の58%。

### 反対討論

丸藤栄一議員

令和元年度から低所得者軽減割が見直しされ、高額療養費の上限額も引き上げられた。平成30年度比、1人当たり約8千円もの値上げとなった。

## 下水道

〔賛成10、反対2で可決〕  
10億6883万円

### 水道会計

〔賛成10、反対2で可決〕  
7億8977万円

### 賛成討論

角野由紀子議員

事業報告書から経営の健全性、効率性が判断できる。水道基本料金の免除は英断であり、町内全体の漏水一斉調査による有収率の向上を評価する。安全で良質な水の安定供給を今後も期待して賛成する。

### 反対討論

丸藤栄一議員

宮代町の水道料金は、県平均よりも高い。水道事業で発生した純利益分4515万円は、建設改良積立金に積み立てるのではなく、高齢者や収入の少ない世帯などへの水道料金引き下げにまわすべきである。



# 手話を使って安心して暮らすように

手話を使って安心して暮らすことができるように

## 宮代町手話言語条例

〈全会一致で可決〉

手話が言語であること  
をすべての町民が理解し、  
手話を使って安心して暮  
らすことができる環境を  
整えるため「宮代町手話  
言語条例」を新たに制定  
するもの。

### 主な質疑

**問** 意見書が可決されて  
条例ができるまで時間が  
かかったが、なぜこんな  
に遅れたのか。

**答** 意見書や国、県など  
の動向も踏まえ、また、  
町の手話の会からも制定  
の要望もあり、令和4年  
に検討委員会を設置し、  
条例制定に至った。時間  
はかかったが、今後は条  
例に基づいて、啓発やこ  
れまで継続してきた事業  
の充実に努めていきたい  
と考えている。

**問** もっと積極的に取り  
組むべきだったのでは。

**答** 支援のあり方も十分  
考えていかなければなら  
ないし、町民の意見を聴  
きながら進めていきたい。  
**問** 第7条についてはど  
ういうことをするのか。

**答** 具体的な事業につい  
ては、方針などを定めた  
うえで決定していく。

**問** 第8条で財政措置を  
講ずるよう努めるとある  
が。

**答** 努力規定になってい  
る。各事業を実施する中  
で財政措置が必要な場合  
は、財政担当と協議しな

### 賛成討論 丸山妙子議員

言語のひとつとして制  
定されることにより理解  
が進む。誰もが簡単な手  
話ができ、役場に来庁さ  
れた際に困らないように、  
手話で会話ができる町に、

から進めていく。

**問** 財政措置はどの程度  
まで財源を確保するのか。

**答** 財源も必要だが、周  
知・啓発が一番大事なの  
でそこに力を入れていき  
たいと考えている。

**問** 手話のできる職員は  
何人いるのか。

**答** 日常の会話ができる  
職員が1人いる。町の手  
話奉仕員養成講座を受講  
して、一定程度できる職  
員が3、4人いる。

**問** 県内の自治体の条例  
制定状況は。

**答** 市では30団体、町で  
は13団体となっている。

### 賛成討論 塚村香織議員

当事者や関係者の声を  
聴き、条例制定までのプ  
ロセスを大切にされたこ  
とを評価。インクルーシ  
ブ社会への取組みとなる  
事業を期待し賛成する。

## 宮代町犯罪被害者等 支援条例

〈全会一致で可決〉

犯罪被害者等基本法に  
基づき、犯罪被害者等が  
必要とする施策を総合的  
に推進するため、「宮代  
町犯罪被害者等支援条  
例」を新たに制定するも  
の。

### 主な質疑

**問** 見舞金の財源はどの  
ようになっているのか。

**答** 第8条に見舞金の支  
給を定め、一般財源から  
の支出となっている。

**問** 相談窓口はどこに設  
置されるのか。

**答** 総務課の人権推進室  
に総合的対応窓口という  
ことで、設置される。

### 賛成討論 丸山妙子議員

県内で条例制定の自治  
体が増えた。国では補償  
金額の増を検討。警察庁  
では専従課新設。施行日  
から、安心安全で各課連  
携しての対応を要望する。

# 高齢者等タクシー助成金の増額

## 一般会計補正予算

〈賛成10、反対2で可決〉  
歳入歳出予算にそれぞれ6億6924万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ126億3084万円とする

ものです。普通交付税交付額、臨時財政対策債の確定に伴う補正や人事異動などに伴う人件費補正、公共施設緊急点検に係る緊急修繕などへの財源繰出が主な内容です。

問 衛生費の新型コロナウイルススワクチン接種の過年度分の国への返還金について詳細を伺う。

答 ワクチン接種の経費としての国から補助金に、残が生じたため、補助金の返還を行うもの。令和5年5月7日が区切りとなっているため、令和3年の繰り越し分と令和4年度分を返還することになる。

問 小中学校や給食センターにおける劣化診断について、なぜ点検することになったのか。

答 近隣自治体における公共施設の外壁崩落などが起こったことにより、小中学校、公共施設、学校給食センターなどの劣化診断を実施した。その結果を踏まえ、修繕工事の予算を計上した。

問 子ども計画策定について詳細を伺う。

答 国からの要請で策定することになる。今年度中に、子ども大綱に基づいて貧困調査や若者調査を実施するもの。

## 請願

杉戸町・宮代町の合併の是非を問うアンケートの実施を求める

〈賛成2、反対10で不採択〉

宮代町では過去2回「合併に関する意識調査」を実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、出生数は過去最低、人口減少は加速しています。小さな町のまま行政を進めていくことが正しい行政姿勢とは思えません。町長に行財政改革を率先して推進する責任と義務があることを踏まえて、今年度内に補正予算を組み「合併の是非を問うアンケート」を実施」を求めます。

〈要旨〉

## 意見書

「健康保険証」の廃止撤回を求める

〈賛成5、反対7で否決〉

政府は現行の健康保険証を2024年秋に廃止し、マイナンバーカードと一体化させるマイナンバー法等改定案を成立しました。ところが「マイナ保険証」のトラブルは後を絶ちません。マイナンバーカードの取得は、本来、任意だったにもかかわらず、事実上「マイナ保険証」の強制になっています。今後は自己責任に基づく「申請主義」になり無保険の方ができる可能性もあります。政府におかれましては、健康保険証の廃止を撤回するよう強く要望します。

〈要旨〉



昨年度より大幅に利用が増えたタクシー助成

## 主/な/内/容

- 高齢者等タクシー助成金の増額
- 児童福祉対策事業（子ども計画策定）
- 農業生産基盤整備推進事業
- 小中学校施設管理事業（緊急点検）
- 学校給食運営管理事業（緊急点検）

## 反対討論

小河原正議員

本補正予算自体は反対しない。合併アンケート実施を求めたことに対し、町が応じなかったことで辞職した議員が出たことを重く受け止めてほしい。

# 議案に対する各議員の賛否

○賛成 ●反対 欠 欠席  
- 議長は採決に加わらない

議案番号	議案	主要内容	議決結果	町民の会 2人		日本共産党 2人		無党派 1人	公明党 2人		令和 新風の会 5人					議長 合川 泰治
				小河原 正	西村 茂久	山下 秋夫	丸藤 栄一	丸山 妙子	泉 伸一郎	角野 由紀子	塚村 香織	田島 正徳	土淵 保美	深井 義秋	川野 武志	
27	令和4年度一般会計歳入歳出決算の認定	※P2	認定	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-
28	令和4年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	※P10	認定	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-
29	令和4年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	※P10	認定	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-
30	令和4年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	※P10	認定	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-
31	令和4年度水道事業会計利益の処分及び決算の認定	※P10	認定	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-
32	令和4年度下水道事業会計利益の処分及び決算の認定	※P10	認定	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-
33	犯罪被害者等支援条例	※P11	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
34	手話言語条例	※P11	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
35	税条例の一部を改正する条例	地方税法等を改正する法律が公布されたことに伴う	可決	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	-
36	特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例	非常勤の特別職職員の費用弁償	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
37	放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	研修が2年以内に終了予定であれば放課後児童支援員とみなす	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
38	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	認定こども園法の改正に伴い条文の項ずれを解消	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
39	久喜宮代衛生組合の共同処理する事務の変更及び同組合の規約変更並びに財産処分	し尿に関する事務及び塵芥の収集運搬に関する事務の廃止と財産処分	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
40	北本地区衛生組合への加入及び財産処分	し尿処理での北本地区衛生組合への加入と財産の継承について協議を行うもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
41	副町長の選任につき同意を求めること	※P13	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
42	農業委員会の委員の任命につき同意を求めること	※P13	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
43	令和5年度一般会計補正予算(第2号)	※P12	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
44	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	国民健康保険特別会計に1,796万2千円を追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
45	令和5年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	介護保険特別会計に1億4,611万6千円を追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
46	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	後期高齢者医療特別会計に830万円を追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
47	令和5年度水道事業会計補正予算(第1号)	収益的収入を21万6千円追加し、収益的支出を20万円減額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
48	令和5年度下水道事業会計補正予算(第1号)	収益的収入・支出を36万7千円追加、資本的収入を2,741万円減額、資本的支出を1,650万円追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
49	監査委員の選任につき同意を求めること	※P13	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
50	財産の取得	校務支援システム及び教育系ネットワーク機器の更新	可決	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-
意見5	「健康保険証」の廃止撤回を求める意見書	※P12	否決	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	-
請願1	杉戸町・宮代町の合併の是非を問うアンケートの実施を求める請願書	※P12	不採択	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-



かわの たけし  
川野 武志 氏

議会選出監査委員  
任期は議員の任期まで



せきね たけお  
関根 武男 氏

農業委員会委員  
任期は農業委員の任期まで

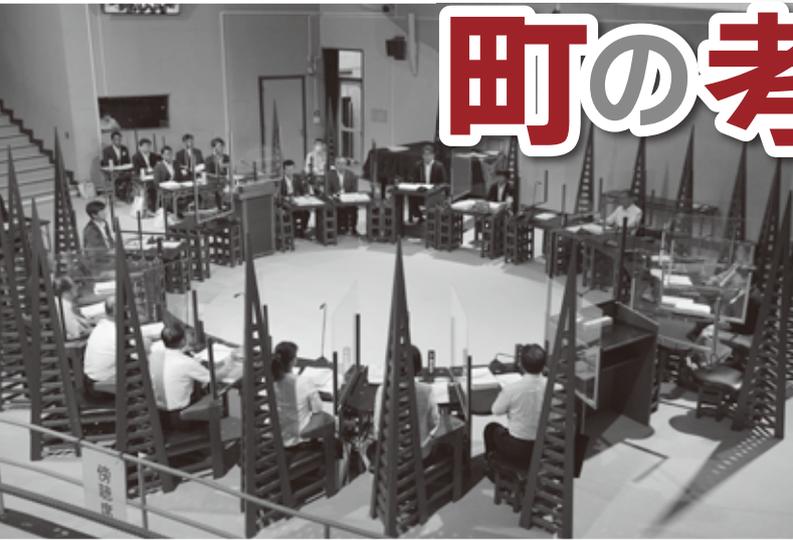


しぶや たつひろ  
渋谷 龍弘 氏

副町長  
任期は4年  
しました。  
全会一致で同意

人事

# 町の考えを問う!



一般質問とは、各議員が町の政策に対しその執行の状況や将来の方針などについて報告を求めたり、政策的提言や行政の課題などを執行者に直接質問することです。

ここに掲載したものは、質問・答弁ともに質問者がまとめたダイジェストです。詳しくはQRコードより録画配信をご覧ください。

## 一般質問項目一覧

P15

### 泉伸一郎 議員

- ① 災害対策と避難所
- ② GIGAスクールの課題と対策
- ③ 教育支援センター
- ④ 新橋通り線

### 西村茂久 議員

- ① 大震災時、自主防災組織は機能できるか
- ② 久喜市新ごみ処理施設に係る負担割合の協議経過
- ③ 新型コロナウイルス感染症第9波
- ④ 宮代町民の合併意識調査

P18

### 丸山妙子 議員

- ① 町の条例は機能しているか
- ② 再生エネルギー活用の取組
- ③ 安心安全の学校教育と子どもの人権
- ④ 主権者教育の必要性
- ⑤ 放課後児童クラブ指導員の賃金

### 塚村香織 議員

- ① 通学時の重い荷物による心身への影響を考へて
- ② 当町のマスコットキャラクターの活用を
- ③ 循環型リサイクルで快適な環境整備を

P16

### 川野武志 議員

- ① 農業支援
- ② 東武動物公園駅西口わくわくロード事業
- ③ スクールガード等の取組

### 角野由紀子 議員

- ① 須賀小学校地域拠点施設基本構想
- ② コバトンベビーギフト
- ③ 学校図書館の充実と子どもの読書活動の推進
- ④ 町立図書館駐車場

P19

### 小河原正 議員

- ① 久喜市新ごみ処理施設
- ② 宮代町道12号線及び町道148号線の事業

### 土淵保美 議員

- ① 姫宮駅西口ロータリー付近の景観整備
- ② 消防団活動
- ③ スポーツフェスティバル

P17

### 田島正徳 議員

- ① 宮代町の道路
- ② 新型コロナウイルス感染症
- ③ 带状疱疹
- ④ 長期休みにおける学童保育

### 丸藤栄一 議員

- ① 第9期介護保険事業計画
- ② ごみ及びし尿処理の進ちょく状況
- ③ 気候危機打開にむけた取り組み

P20

### 深井義秋 議員

- ① 防犯対策
- ② 町の広報紙のあり方
- ③ 通学路の安全対策
- ④ 中学校の校則

一般質問は9月4日、6日、7日の3日間で行いました。

※項目一覧の順番は抽選順です。

※白抜き数字は掲載された質問、それ以外は紙面の都合により掲載できなかったものです。

# 危険な風水害への対策は充分か

## 情報収集と発信に努め職員を配備



いずみしんいちろう  
泉伸一郎 議員



百間中学校体育館で行われた町職員主体の訓練

**問** 台風や線状降水帯への災害対策は。

**答** 町民生活課長

気象予報官から直接受ける「気象台オンライン解説」がスタートし、災害に備えて事前に情報を共有できる。速やかな情報収集と発信に努め、規模に応じて職員を配備すると共に、避難所の準備と開設に当たる。

**GIGAスクール**

**問** 一人一台端末の利

活用状況は。

**答** 教育長

インターネットを使った調べ学習、プレゼンソフトを使つてのまとめや発表などで活用。高学年や中学生では、ワープロソフトでのレポート作成、写真やグラフィックを取り込んだプレゼン作成・発表などで活用している。

**教育支援センター**

**問** 不登校児童生徒の現状と支援は。

**答** 教育推進課長

令和4年度において不登校児童生徒は小学校が15人、中学校が29人となっている。教育支援センターは「適応指導教室」と「教育相談」の2つの機能を持った施設で、児童生徒の居場所として、生活や学習の支援と相談を行っている。

# 久喜ごみ施設の負担協議の進捗は

## 10月中旬を目途に合意を目指す



にしむら しげひさ  
西村茂久 議員



令和9年4月解体予定の現焼却施設 50年余の歴史

では提示はない。**問** 協議が整わなかった場合の町の考えは。

**答** 環境資源課長

10月中旬を目途に合意を目指す久喜市との共通認識のもと協議しているが、合意に至らない可能性が強い場合は検討が必要となる。

**自主防災組織**

**問** 自主防災組織に町が期待する内容は。

**答** 町民生活課長

初期消火、安否確認、避難誘導、救出と手当、情報収集と町への連絡など。

**問** 自主防災組織の備え及び活動状況は。

**答** 町民生活課長

資機材の購入や拠点整備及び訓練などへの町の補助。活動状況は、町防災訓練への参加及び独自訓練や研修実施など。

**問** 実施設計の提示はあったか。

**答** 環境資源課長

9月に完了予定とのことだが、現時点

**問** 新ごみ施設の負担協議の進捗状況は。

**答** 環境資源課長

①インフラを含む施設整備費②施設運営費は現衛生組合の負担金算出割合に準じる方向で③地元還元施設（余熱利用施設・公園）整備費について協議している。

## 宮代産米を使ったパックライスを 新しい村で試作準備を進める



かわの たけし  
**川野 武志** 議員



近年大きく伸びているパックご飯の需要

**問** パックライスの製造、配布による防災備蓄品の活用は。

**答** 産業観光課長  
商品化に向けて試作準備を進めている。防災備蓄品に活用できるものと考えている。

### 西口わくわく ロード事業

**問** 町民からの意見・要望は。

**答** まちづくり建設課長  
「東武動物公園の

わくわく感や期待が感じられない」「イルミネーションを西口周辺エリア全体に広げたい」などの意見があった。

**問** イルミネーション実施の可否は。

**答** まちづくり建設課長  
駅西口で実施している民間活動に配慮しながら、社会実験として東武動物公園までの一部区間において街路樹にイルミネーションを設置する予定である。

### スクールガード の取組

**問** スクールガードの装備品の支給状況と充実の考えは。

**答** 教育推進課長  
装備品は現在、町からは支給していない。今後は、各学校の状況を把握しながら学校と連携し、課題として検討する。

## 新しい須賀小学校、どう描く 須賀地域の魅力向上のシンボルに



かどの ゆきこ  
**角野 由紀子** 議員



みんなで創ろう！新しい須賀小（9.24須賀小）

**問** 須賀小の基本構想が策定された。取組の詳細は。

**答** 教育推進課長

基本構想は14人からなる検討委員会を設置し、小学校5年生から88歳まで幅広い年代参加のワークショップや住民意識調査などを実施し策定した。

今年度、策定する基本計画は、地域住民や関係者へのヒアリングやワークショップ

を実施し、できる限り多くの住民と情報を共有し、議論を重ね、新しい施設の姿を形作っていく。

**問** 須賀地域活性化へまちづくりの波及効果をどう描くか。

**答** 教育推進課長  
地域の方が気軽に、また自然に集まれる場に、人と人との繋がりが新しい活動を生み出す場としての。須賀地域の魅力を向上させる新たなシンボルとなることも期待している。

### 学校図書館の充実

**問** 適切な予算措置は行われているか。

**答** 教育推進課長

小学校児童1人当たり1100円、中学校生徒1人当たり1300円の予算措置をしている。図書購入を進め、蔵書数の充実に努める。

# 和戸交差点の右折矢印信号機は町も必要と考えている



たじま まさのり 議員  
田島 正徳



右折矢印信号機が無い和戸交差点

**問** 和戸交差点は右折矢印付信号機に変更すべきでは。

**答** 町民生活課長

右折矢印信号機設置の要望に対して、杉戸警察署から「和戸交差点は杉戸県土事務所が用地買収中で、用地確保の段階で再度調整を行う」との回答だが、引き続き要望していく。

**带状疱疹ワクチン接種費用の助成を**

**問** 予防事業の一環として県内15市町村で実施しているワクチン接種費用の助成の実施は。

**答** 健康介護課長

带状疱疹※は高齢の方の場合は重症化の可能性もある。きっかけがあれば打つという意味での支援を検討していく。

**問** 夏休みの学童保育の昼食は給食センターで対応可能か。

**答** 子育て支援課長

給食センターへ依頼するには数が少なすぎる。費用などで効率的でないため考えていない。保護者の利便性向上を考えると必要なサービスと認識している。現実的な対応として、希望者については注文弁当を手配する方法を、町内学童保育全体で実施できるように調整していく。

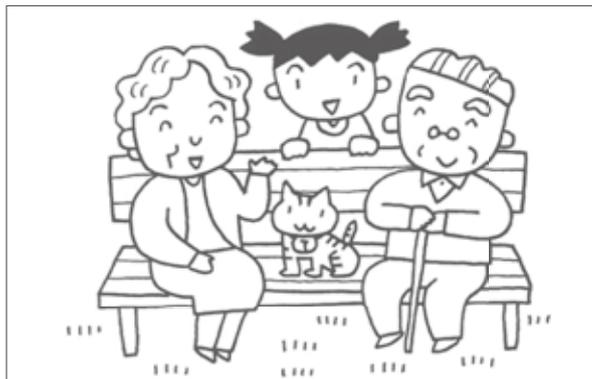
※带状疱疹とは 水痘（すいとう）・带状疱疹ウイルスによって皮膚の痛みや発疹などが起こる病気のこと。

# 介護保険料の引き下げを

## 基金を活用し、抑制に努めたい



がんどう えいいち 議員  
丸藤 栄一



だれもが安心して介護サービスを受けられるために

宅介護などにおいて、負担軽減や助成制度を設ける考えは。

**答** 健康介護課長

現状は特定入所者介護サービス費の対象外となっている。利用希望者の経済的理由が利用の妨げとならないよう、被保険者の声などを聞きながら、国・県に働きかけていきたい。

**気候危機打開の取組**

**問** 当町はゼロカーボンシティ宣言を実施した自治体である。

来年度の気候危機打開にむけた取組は。

**答** 環境資源課長

公共施設への太陽光発電設備の導入を進めていきたい。また、地球温暖化対策実行計画、区域施策編の策定を進め、町全体で脱炭素化、気候危機への対応に取り組んでいく。

※第1号被保険者とは 65歳以上の方。第2号被保険者は40歳から64歳までの方をいう。

# 小中学校体育館にエアコン設置を 検討する必要がある



まるやま たえこ  
丸山 妙子 議員



エアコン設置は熱中症対策と避難所機能両面で必要

**問** 体育館エアコン設置と登下校の安全

**答** 教育長

国の補助金などの活用や導入のタイミングも含め、検討する必要がある。

子ども110番の家の方に再協力の依頼を検討する。

**町条例の機能は**

**問** 施行日からすぐ対応できる仕組みと近隣市町との連携は。

**答** 総務課長

犯罪被害者等支援における相談体制は

複数の部署が関与することが考えられる。

これまで以上に被害者やご家族の心情に寄り添った支援が

できるような運用を見直

していく。手続きの

負担や心情的な負担を解消するため、近

隣市町と情報交換を行

っていく。

**主権者教育の取組**

**問** 子どもも議会は。

**答** 町長

自分達で運営し、予算まで持つ子ども議会もあると聞く。

研究する必要がある。

**再生エネルギー**

**問** 公共施設の屋根など耕作放棄地の活用は。

**答** 環境資源課長

来年度から順次導入する。

**産業観光課長**

再生可能エネルギー導入必要性を認識。

# 循環型リサイクルで草刈り解決を 雑草抑制効果を確認し検討する



つかむら かおり  
塚村 香織 議員



試験施工から3か月、草は出ていない

過を観察し、効果を  
確認した上で、今後  
の展開を検討する。

**ランドセルは選択制**

**問** 小学生の荷物の平均重量は約4kg、中

学生は10kgと大変重

く、心身への影響を

踏まえた対応が必要

小学生はランドセル

自体も重いが学校と

しての考えは。

**答** 教育長

小学校入学時にラ

ンドセルを準備する

風習はあるが、指定

はしていない。

**問** 使用の選択に関し

て保護者への周知や

今後の対応は。

**答** 教育長

入学前の周知はH

**問** 町内草刈りは年に2、3回なので、繁茂すると近隣住民は困る。また夏場の草刈りは重労働。当町の燃やせるごみのリサイクル品である防草砂を積極的に活用できないか。

**答** 産業観光課長

メーカーより防草砂サンプル10トを提

供してもらい、道佛1丁目地内、西条原

地内の水路敷地に試験的に施工した。経

Pなどを検討する。

幾つかの学校では持

ち物にランドセルと

いう表記があるので  
配慮の必要がある。  
児童生徒の健康を第

一に考えていく。

# 新ごみ施設の宮代町の負担額は

## 協議が整い次第丁寧な説明をする



おがわらただし  
小河原 正 議員



新ごみ処理施設276億円 運営費など422億円の事業

**問** 久喜市の新ごみ処理施設は斬新なデザインで光る煙突、庭園など本来施設と関係のない費用まで計上されている。こうした経費まで宮代町が負担することになるのかどうか。

**答** 環境資源課長

現在、久喜市と鋭意協議を進めている。

**問** 今後、どう住民の理解を得るのか。

**答** 環境資源課長  
住民の理解を得る

### ごみ処理施設の総額と委託料

**問** 宮代町がごみ処理を委託する新ごみ処理施設運営費の総額と委託料は。

**答** 環境資源課長

運営費は、20年間で約145億円、1年間では7億2千万円程度となっている。今後、合意が整い次第負担割合の協定を結ぶ。

### 道路整備の進展

**問** 新橋通り線の中島交差点から国道4号線までの整備の進展は。

**答** まちづくり建設課長

令和5年は用地買収を進めるとともに、橋梁の予備設計地質調査を県が実施している。

# 姫宮駅西口の景観整備を

## 専門家に相談し対応を検討する



つちぶち やすみ  
土渕 保美 議員



見るからに弱ってしまい枯れる寸前の木々が目立つ

**問** ローターリー付近の花壇の木々の中には弱って枯れる寸前のものが目立ち、景観を損ねる状況にある。わくわくロード事業のコンセプトに基づき景観整備を。

**答** まちづくり建設課長

姫宮駅西口周辺についても、わくわくロード事業のコンセプトを念頭に、駅前広場や駅前通り線の維持管理や、修繕などの検討を行う。

### 消防団活動

**問** 団員の欠員をはじめとする課題に対し、若い人材を入団させ育成させる手立てを考えているのか。

**答** 町民生活課長

町公式ホームページによる団員募集を始め、訓練などの活動状況を発信して認知度の向上を図り、団員の確保、並びに資質向上に積極的に支援していく。

### スポーツの祭典

**問** 町民体育祭の代わりに行われたスポーツフェスティバルの反省点、課題は。

**答** 教育推進課長

準備期間が短く周知期間も長く取れなかったが、多くの方に参加してもらった。今年も体験型スポーツイベントとして行う。

# 防犯の安全対策の取り組みは 防災行政無線とメールを利用



ふかい よしあき 議員  
深井 義秋



安全に通学する登下校道路

**問** 窃盗被害などの犯罪件数と被害にあった場合の町の対応は。

**答** 教育推進課長  
教育委員会から各学校に通学路の安全点検を依頼し、児童生徒と教職員、保護者が確認を行う。

**問** 町民生活課長  
住居侵入や窃盗被害は前年度95件で17件増、町では防災行政無線や防災メールを利用する。防犯カメラの助成の予定はない。

**答** 危険箇所がある場合は、各学校から町へ要望書を提出し、対応を依頼する。子ども達への指導は日頃の交通指導と交通安全教室を実施し、交通安全に対する意識を高めている。交通指導員の方やスクールガードリーダーの方々が登下校の安全を見守っている。

## 交通安全対策

**問** 通学路の安全対策の点検は。その課題と取り組みは。

**答** 交通安全に対する意識を高めている。交通指導員の方やスクールガードリーダーの方々が登下校の安全を見守っている。

## 中学校の校則

**問** 校則についての基本的な考えは。

**答** 教育推進課長  
服装、髪形、持ち物などを、学校や地域の実情に応じつつ教育的効果が高まるよう考えながら、適切に定めている。

# 議会だよりモニターに向けて検討中!

皆様のご意見を基に、より一層の充実を図ります!

**内容** 年4回発行の議会だよりについてのアンケート回答

**対象** 町内にお住まいの方

議会を身近に!  
わかりやすく!

議会だより128号について  
ご意見・ご感想をお寄せください。

ご協力よろしくお願いいたします。

宮代町議会広報委員会まで  
〒345-8504 宮代町笠原1-4-1  
mail:gikai3846@outlook.jp

### 開かれた議会

広く市民から意見を求め町議会での意思決定の内容及び経過を分かりやすく説明するよう努めます。

# 先進自治体から学ぶ

議会運営委員会、議会広報委員会の合同視察研修（7月3・4日）は4年ぶりの開催となり、先進的な自治体の取組みを直にお会いして学んできました。

群馬県 しんとうむら 榛東村 人口 14,500人

視察テーマ **読まれる議会だより**  
議会広報委員会 ▶ 4名参加



▶ 第37回広報コンクール  
表紙デザイン金賞

● **表紙へのこだわり**  
広報委員が地域の行事に参加し写真撮影の前に仲良くなり、柔らかい自然体の人物写真を撮っている。

● **村民の声を反映**  
議会だよりモニター制度や「聞いてくれない！村民の声」など、方言や身近な言葉を使って、村民が意見しやすい雰囲気や制度を作っている。



議会だよりの配布に関しては、自治会を通して村広報と一緒に各世帯に配布しているが、榛東村の自治会加入率は90%。宮代町は65%でお手元に届く割合の違いにも驚きでした。当町議会でも広聴部分を増やしていく予定です。

栃木県 やいたし 矢板市 人口 30,679人

視察テーマ **議会改革の取組み**  
議会運営委員会 ▶ 4名参加



● **議会へのタブレット端末導入**  
平成29年2月に議会改革推進特別委員会において、ICT化を進めることとなり、先進地を視察し検討を重ね、翌平成30年10月から導入し運用を進めている。

● **市内の高校生と意見交換会**  
投票権が18歳以上となったのを契機に、市内3校の高校に議員が出向き

意見交換会実施。昨年は子育てという課題で関係団体と実施し、住民の声を聴いて議会に反映している。

● 議員全員で構成する議会というものが、あり、課題に対して議会改革推進特別委員会を設置して議会改革を進めている。毎年、年度末には必ず市長に対して議員総意の要望書を提出している。

議会改革推進特別委員会を設置し、タブレット端末・通年議会・電子評決システムなどを導入し目を見張るものがある。高校・大学の学生たちと意見交換会が恒例行事となるよう当町議会でも推進していきたいと思ひます。



# 町民インタビュー



## 手話で楽しく交流



宮代手話の会代表  
たけい ちよこ 武井 千代子 さん

第3回は、手話言語条例制定に向けてご協力をいただいた「宮代手話の会」の方々に話を伺いました。

### A Q

手話の会について教えてください。

平成3年、自宅の一室で活動を始めて、現在会員は8歳〜80代の方まで35名になりました。手話の勉強や学校などの福祉体験で聴こえない方々への正しい知識や理解を伝え、交流しています。

### A Q

活動を通して感じていることは。

- 聴こえない方へ理解が広がっている。
- 子ども達との福祉体験で、手話に対する意識が芽吹いていると感じている。
- 生まれつき聴こえないが、一人暮らしになったのがきっかけで手話の会に入り協力できて楽しい。
- 高校生の時に手話に出会い、現在は子どもと一緒に交流できて嬉しい。



聴こえない人と手話で交流

### A Q

手話言語条例が制定され今後に期待することは何ですか。

手話ができる人との交流が広がる事は安心感に繋がります。手話講習会の参加が増えれば嬉しいです。



手話通訳

### A Q

最後に議会への要望はありますか。

○傍聴してみても議会のシステムが分かりづらいと感じた。  
○議員の方々も手話を学んで一緒に広めて欲しいと思います。

### 感謝です

「ありがとう」の手話でコミュニケーションがとれた時、とても嬉しい気持ちになりました。言葉以外にも心が通じ合う素敵な体験。楽しく活動されている様子が伝わりました。

(塚村・泉)

## 広報委員

- |        |       |      |       |
|--------|-------|------|-------|
| [委員長]  | 塚村 香織 | [委員] | 丸藤 栄一 |
| [副委員長] | 泉 伸一郎 | [委員] | 深井 義秋 |
| [委員]   | 西村 茂久 |      |       |

## 第30回 町民と議員との議会懇談会のお知らせ

開催日 **11月11日(土)** 午前10時~12時

場所 **宮代町立図書館ホール**

## 議会に行こう!

どなたでも傍聴できます

12月議会の予定は  
**11月30日(木)** 午前10:00

場所 **議場(進修館小ホール)**  
一般質問は12月4日(月)・6日(水)・7日(木)

## 編集後記

関東大震災から100年目の9月1日、議場で防災訓練が行われました。地震が来たらすぐにその場所での自分の身を守る訓練が「シェイクアウト訓練」です。いつ起こるか分からない災害に備えて、議員も職員もヘルメット着用用の本番さながらの訓練でした。本会議中での訓練は議員になって初めての事です。(丸藤)

